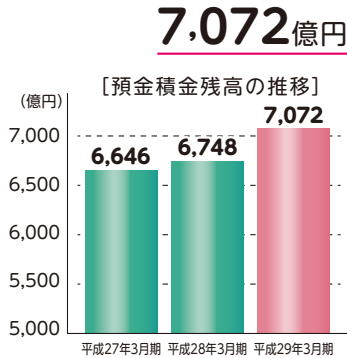


## 平成28年度業績ハイライト

## 預金積金残高

県内金融機関で初となる動物園と連携した定期預金を販売したほか、夏冬2回の定期預金キャンペーンを実施しました。

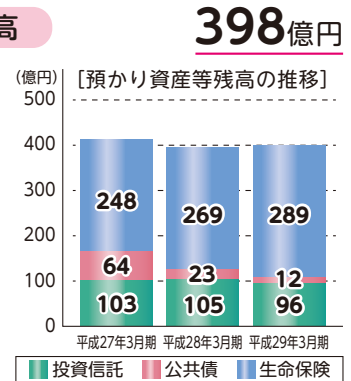
その結果、個人のお客さまを中心に、預金積金残高は前期比323億23百万円増加いたしました。



## 預かり資産等残高

当金庫では、「お客さま本位の業務運営(フィデューシャリー・デュティー)」を踏まえ、お客さまからのニーズに沿った商品のご提案と適切な情報の提供に努めてまいりました。

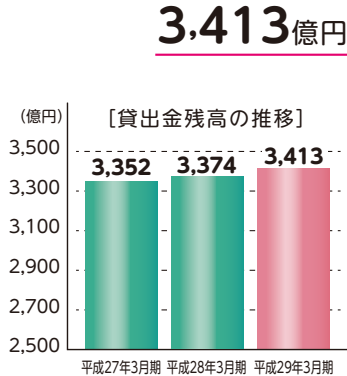
その結果、平成29年3月末現在の投資信託・公共債・生命保険の合計残高は398億97百万円となりました。



## 貸出金残高

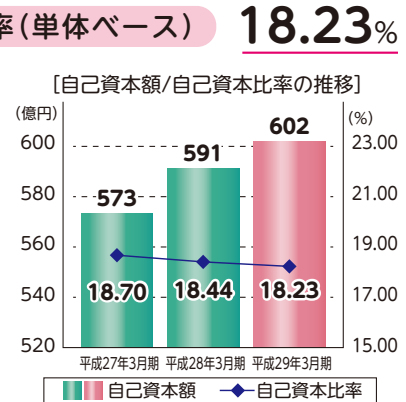
事業者のお客さまからの各種ご相談に迅速に対応する体制を整えたほか、個人のお客さまには、来店不要のWEB完結型のローン商品を取り揃えるなど、商品性の向上に取り組んでまいりました。

その結果、貸出金残高は前期比39億76百万円増加いたしました。



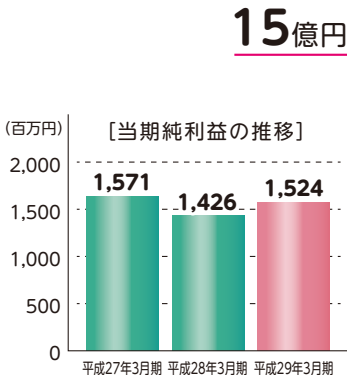
## 自己資本比率(単体ベース)

平成29年3月期の自己資本比率は18.23%と、リスク・アセットの増加により前期比0.21ポイント低下いたしました。引き続き国内基準(4%)を大きく上回る健全性を維持しております。



## 当期純利益

マイナス金利政策の影響もあり、経常収益は減少いたしました。コスト削減に努めたことで、当期純利益は前期比97百万円の増益となりました。



## 不良債権の状況(金融再生法ベース)

平成29年3月期の金融再生法上の不良債権残高は162億円となり、不良債権比率は4.73%となりました。この内、担保・保証および貸倒引当金で151億円、93.04%がカバーされ、残りの不良債権残高も潤沢な自己資本によりカバーされております。

